

# 平成27年度公益法人奨学会募集状況一覧

※募集する奨学生は、下記出願条件と人物・学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難とみとめられる者が対象となります。なお、特に記載がない場合は、日本人学生対象です。

※☆の付いている奨学会は、毎年対象の研究科・学部が変わります。

## (1) 内部選考を行う奨学会

※出願条件にある学部・研究科は年度により変わるものがあり、平成28年度の予定についても奨学会の依頼等により変更になる場合がありますのでご了承ください。詳細については募集時に最新情報を掲示で確認してください。

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	採用者数	奨学金月額(円)		募集期
松尾金蔵記念奨学基金☆	<p><b>大学院:</b> 人文社会系、教育学(文学、哲学、言語学、人文地理学、教育学、心理学、社会学、史学等専攻)の修士1年及び博士1年。</p> <p>(1) 就学上、奨学金の援助を必要とする者。(家族の生計を支える者の前年度年収又は本年度の見込みが原則800万円{税込総収入}以下、独立生計者の場合は本人の前年度年収又は本年度の見込みが原則250万円{税込総収入}以下)</p> <p>(2) 品行方正、健康で学業成績が優秀な者。</p> <p>(3) 平成27年4月1日現在の年齢が30歳以下の者。</p> <p>支給期間: 正規の最短修業年限まで(年度ごとに継続審査有り)</p>	不可	0	給与	年額100万円 (6カ月ごと支給)	4月
日新製糖奨学育英基金☆	<p><b>学部:</b> 医、薬、理、工、農学部の4年課程の3,4年生、または6年課程の5,6年生で、東京都内に居住し、学業・人物ともに優秀かつ健康な学生であって、経済的事情により修学の継続が困難と認められる者。</p> <p>※採用が決定した場合には、7月上旬に「贈呈式」および「生活指導・激励のための懇親会」が開催予定ですので出席してください。</p> <p>支給期間: H27年7月から(4月に遡って)正規の最短修業年限迄</p>	望ましくない (ただし日本学生支援機構は可)	1	給与	30,000円	4月
山岡育英会	<p><b>大学院:</b> 農学生命科学研究科修士1年で、以下のすべてに該当する者。</p> <p>(1) 学部時代に学問・研究に意欲的に取り組み、優れた成績を残している者。</p> <p>(2) 将来社会に何らかの貢献が期待できる者の中で、かつ研究生活を維持する上で、経済的な助成が必要と認められる者。</p> <p>・内部選考通過者は、財団による書類審査及び面接選考があります。(5~6月)</p> <p>・奨学生採用証書授与式を6月下旬に開催予定です。</p> <p>支給期間: 平成27年4月から平成29年3月迄</p>	可	1	給与	60,000円	4月

古河記念基金☆	<p>大学院:農生、薬、新領域の修士の学生で以下のすべてに該当する者。ただし金属その他資源関係の学生を優先とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国籍を有すること。</li> <li>・学業成績や取得単位数が優秀であること。</li> <li>・卒業までの進級が十分見込まれること。</li> <li>・家庭の経済状況については、年収900万円以下であること(年金収入は算入しない)。</li> </ul> <p>支給期間:正規の最短修業年限迄(最長6年)</p>	可	1	給与	30,000円	4月
住友電工グループ社会貢献基金☆	<p>大学院:理、工、新領域、情理、学際、農学、薬学、医学系の修士1年の学生で、下記のすべてに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理工系の分野を専攻している者。</li> <li>・学業、人物ともに優れながら経済的理由により援助が必要と認められる者。</li> <li>・平成27年4月現在、修士課程の1年次に在籍する者。</li> </ul> <p>支給期間:平成27年4月分より平成29年3月分まで(但し平成29年3月以前に修士課程を修了する場合は終了月とする)</p>	貸与のみ可	1	給与	30,000円	4月
森下仁丹奨学会☆	<p>学部、大学院:学部3,4年生、修士課程の日本人学生で下記に該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な学生。</li> <li>・就業の意志が固く、責任感が強く、学生生活全般に通じて、態度、行動に良識があり、かつ就業後、社会に優れた人材となり得る者。</li> </ul> <p>支給期間:採用決定月より、最短修業年限(6年制学部生は4年終了時に再審査を行う)</p>	貸与のみ可	0	給与	30,000円	4月
みずほ育英会	<p><b>学部・大学院:</b>学部3,4年生、修士、博士課程、及び法科大学院の日本人学生で下記に該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身健全にして学業成績優秀な学生であり、経済的理由により修学困難な者。</li> <li>・保護者の年収(目安)が900万円以下。</li> <li>・奨学金は窓口にて直接交付。</li> </ul> <p>貸与期間:正規の最短修業年限迄(事務局にて直接交付)</p>	不可 (ただし日本学生支援機構は可)	2	貸与	学部 50,000円 院 60,000円	4月
アイザワ記念育英財団☆	<p><b>大学院:</b>教育、情報理工学系研究科の修士の学生で、下記すべてに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学業優秀、品行方正かつ素直で積極性があり、経済的理由により修学が困難な者。</li> <li>・内部選考に通過した場合、5/24(日)の財団による選考会に必ず出席できること。</li> <li>・年数回のレポート提出や、研修会への出席ができる者。</li> </ul> <p>給付期間:正規の最短修業年限迄(ただし2年を限度とする)</p>	不可(ただし日本学生支援機構は可)	2	給与	45,000円	4月

オーディオテクニカ奨学会☆	<p>大学院:理、工、情報理工学系の修士の学生で、下記のすべてに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都内に在住する者。</li> <li>・健康でかつ学業成績が優秀であり、経済的理由により学費の支弁が困難である者。</li> <li>・財団の主催する奨学生生活状況報告会(5月)、奨学生の集い(11月)に出席できること。</li> </ul> <p>※内部選考通過者には財団による書類・小論文選考及び面接選考(5/27)があります。</p> <p>支給期間:正規の最短修業年限迄</p>	可	1	給与	20,000円	4月
新日本奨学会	<p>学部:理、工、農、法、経済、教養学部の3年生で学業成績、人物ともに優秀かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められる者。</p> <p>※本奨学会の選考は成績を重視します。</p> <p>内部選考通過者には、5月18日(月)午後1時に財団による面接があります。</p> <p>※採用された奨学生は、奨学会の行う懇親会や面接等に必ず出席して下さい。</p> <p>給与期間:正規の最短修業年限まで</p>	可	6	給与	47,000円	4月
尚志社☆	<p>学部:6年課程(医、薬、農学部獣医課程)の3年生以上。</p> <p>大学院:次にあげる研究科の修士1年生、または博士1年生。</p> <p>法学政治学(専門職を除く)、新領域、薬学系</p> <p>以下の基準を満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)学業成績が特に優秀な者</li> <li>(2)学部25歳未満、修士30歳未満、博士35歳未満(平成27年4月2日現在)</li> <li>(3)内部選考に通過した場合、6/13(土)の財団による選考会に必ず出席できること。</li> <li>(4)当該財団が定期的実施する社友懇談会に出席でき、また、受給期間通じて最低1回、機関誌「尚志」に必ず寄稿できる者</li> <li>(5)家計基準が日本学生支援機構学部生向け第一種の家計基準&lt;収入・所得の上限額の目安&gt;を上回らないこと。本人(配偶者含む)に定職収入がある場合はそれを含める。</li> </ol> <p>給与期間:正規の最短年限まで</p>	不可(日本学生支援機構は可)	0	給与	<p>○学部: 25,000円(自宅)/ 34,000円(自宅外)</p> <p>修士: 27,000円(自宅)/ 36,000円(自宅外)</p> <p>博士: 40,000円(自宅)/ 48,000円(自宅外)</p> <p>○学校納付金(授業料)の実費を限度に支給する)</p>	4月
中山報恩会	<p>学部・大学院:学部3年、修士1年(専門職学位は除く)で、以下のすべてに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)日本国籍を有する者。</li> <li>(2)3浪以上の者、学部生は一度大学を卒業した者、及び他の大学に3年以上在籍した者は応募できない</li> <li>(3)過去に本奨学金を受給された者の再申請可</li> <li>(4)内部選考に通過した場合6/8(月)または9(火)の財団による選考会に必ず出席できること</li> </ol> <p>&lt;給付(貸与)期間&gt;正規の最短修業年限まで</p>	不可(ただし日本学生支援機構は可)	6	給与+貸与	<p>学部: 自宅36,000円(貸与24,000+給与12,000円)</p> <p>自宅外42,000円(貸与28,000+給与14,000円)</p> <p>院:50,000円(貸与30,000+給与20,000円)</p>	4月

三菱UFJ信託奨学財団☆	<p><b>大学院:</b> 法学政治学、経済学、工学系、理学系、新領域創成科学、情報理工学、学際情報学府、法科大学院(修士、博士、専門職学位)の学生 以下の基準を満たす者 (1)財団主催の行事を優先できる者。 (2)最短修業年限までの給付期間が1年以上見込まれること。 (3)健康で、学業成績、人物ともに優れている者で、学費の支弁が困難と認められる者(父母の税込年収合計800万円未満。ただし就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上いる場合は、1千万円未満を目処とする) (4)将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動的に社会に貢献しようと志す者、またこれらの活動に関連する学術の研究を志す者。 (5)平成27年4月1日現在、満33歳以下であること。 (6)法科大学院は社会人入学者を除く(詳細はお問い合わせください)</p> <p>給付期間: 正規の最短修業年限</p>	可(ただしその内容を申し出ること)	1	給与	大学院55,000円	4月
井植記念会	<p>大学院: 理学系、工学系、情報理工学系、新領域(理工系)、医学系の博士課程の学生 ・兵庫県出身者 ・学業成績が優秀、かつ心身ともに健全で、将来において学術水準の向上、社会の進歩発展に著しく貢献し得る可能性が認められる者。 ※採用された場合には、平成27年8月19日(水)に行われる奨学会本部(神戸市)での授与式に出席していただきます。 ※本奨学会の選考は、経済的困窮度よりも成績を重視します。 給付期間: 正規の最短修業年限まで</p>	可	2	給与	50,000円	4月
春秋育英会	<p><b>学部・大学院:</b> 専門職学位は除く、学部生、修士課程の学生で以下の条件を満たす者。 (1)心身健全、学力優秀であり、経済的理由により修学困難である者。 (2)学部生は修了時の年齢が26歳を超えない者。また、修士課程生は修了時の年齢が30歳を超えない者。 (3)保護者の年収が1千万円以下であること。 (4)日本在住の所定の保証人が得られる者。 給付(貸与)期間: 正規の最短修業年限まで</p>	可	2	給与+貸与	30,000円(20,000円給与+10,000円貸与)	4月
三谷育英会	<p><b>学部:</b> 学部3,4年生(医学部、農学部獣医学課程除く)。 成績優秀にして、学資に苦慮する学生で、石川県、富山県、福井県出身者であること。 大学を卒業した後再び大学に入学したものは除く。 給付期間: 正規の最短修業年限まで</p>	不可	0	給与	52,000円	4月
野間文化財団☆	<p>大学院: 人文社会、教育学、法学政治学研究科(専門職学位を除く)の修士1年生で、健康で学業に熱意がありながら、教育費不足の者。 ※推薦者には専攻している分野についての論文提出の必要があります。 ※財団による面接選考があります。 給付期間: 平成27年6月～平成29年3月まで</p>	可	2	給与	30,000円	4月

ナカベ 中部奨学会	<b>学部・大学院:</b> 人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由により著しく修学が困難な者 貸与(給与)期間:正規の最短修業年限まで	可	2	学部・ 修士: 貸与  博士: 給与	学部35,000円 修士60,000円  博士50,000円	4月
味の素奨学会	<b>学部・大学院:</b> 学部3,4年生または修士課程、博士課程。化学をはじめとする理系の全般の学科を専攻とし、成績抜群にして身体強健、志操堅固な者。 貸与期間:正規の最短修業年限まで	可	1	貸与	学部自宅30,000円 自宅外35,000円  院自宅40,000円 自宅外45,000円	4月
フジシールパッケージング教育振 興財団	<b>大学院:</b> 工学系、理学系、新領域の修士課程1年生。 【専攻分野】応用化学(プラスチック製品)、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係 ・学業優秀で、パッケージングに興味・関心があり、チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つ者。 給付期間:正規の最短修業年限まで	不可(ただし日本学生支援機構は可)	1	給与	院60,000円	4月
戸部真紀財団☆	<課程>学部、修士、博士 <学年>指定なし <学部>教育、経済、理学、工学、農学、薬学部 <研究科>人文、理学系、農学生命、薬学系 ・化学、食品科学、芸術学、体育学、経営学を専攻していること ・日本国籍を有すること。平成27年4月1日現在で30歳以下。 <給付期間>1年間	可	3	給与	50,000円 (ただし給与奨学金との併給の場合は25,000円)	4月
三輪正人育英会☆	<b>学部・大学院:</b> 理、工、農(獣医課程を除く)、薬(4年制課程)の3,4年生。工学系、新領域、学際情報学府の修士課程の学生。 ※理工系を専攻していること。 ※日本国籍を有すること。 ※過去に本奨学金を受給した者の再申請可。 給付期間:正規の最短修業年限まで。	可	4	給与	30,000円	4月

<p>吉田育英会 ＜マスター21＞ 予約採用</p>	<p><b>学部:</b>2015年10月または2016年4月に大学院自然科学系分野(医学・歯学・獣医学を除く)の研究科修士課程(標準就業年数2年)に進学を希望する理、工、農、薬学部学生で次のすべての項目に該当する者 (1)学業成績が優秀な者※本奨学会の選考は、経済的な困窮度よりも、<b>成績を重視</b>します。 (2)大学院進学のための意識を明確に持つ者 (3)成果の社会還元を志し、影響力を期待できる者 (4)リーダーとしての資質を有する者 (5)日本国籍を有する者 ※進学先大学院は東京大学大学院でなくても構わない。 ※27歳未満(2015年4月1日現在) ※2015年4月1日現在東京大学学部4年次に在学していること。 ※採用者が学校納付金を選択した場合、修士課程での入学金・授業料免除制度は受けられません。 ①第一次選考:書類選考 ②第二次選考:面接選考 2015年7月16,17日実施予定(応募者によるプレゼンテーションを含む) 給付期間:修士課程での2年間</p>	<p>給与:不可 貸与:可 学費を支給する奨学金との重複も不可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>月額8万円 または 修士課程での学校納付金(入学金・授業料)の実費(250万円を限度とする)</p>	<p>4月</p>
<p>井上育英会</p>	<p><b>学部:</b>学部3年生。学業成績優秀、心身健全であって、将来国家社会の重要な役割を担うことができる資質と意欲をもつ者。 ※6/6(土)財団による選考会に出席できること。 貸与期間:正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>2</p>	<p>貸与</p>	<p>自宅30,000円 自宅外35,000円</p>	<p>4月</p>
<p>MHIみらい奨学金(三菱重工理系女性技術者育成支援奨学金)</p>	<p><b>大学院:</b>理学系、工学系、情報理工学系、新領域創成科学研究科の修士1年に在籍する女子学生で、次のすべての項目に該当する者。 (1)化学、機械、電気・電子等の理工系分野を専攻する者。 (2)将来、理工系エンジニアとしてエネルギー・環境分野においてグローバルに活躍する意志のある者。 (3)修学の目的及び計画が明確で、支援の効果が期待できる者。 (4)真に経済的援助を必要とする者。 給付期間:平成27年4月より平成29年3月まで(ただし、大学における在籍期間中に限る)</p>	<p>不可(ただし貸与は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>120,000円</p>	<p>4~5月</p>
<p>岩井久雄記念東京奨学育英基金</p>	<p><b>学部・大学院:</b>理工農学分野の理系の学部3年生、修士1年生、博士1年生(薬・医・獣医を除く)で、学業成績、人物ともに優秀かつ健康であり、学費の支払いが容易ではない、日本人学生。 ※最終学年までの2年間に在籍する者を対象とするため、高専からの編入学生は、平成26年度に編入し、平成27年度に3年生2年目の者に限る。 ※本奨学会の選考は<b>成績を重視</b>します。 給与期間:正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可(ただし貸与は可)</p>	<p>4</p>	<p>給与</p>	<p>学部100,000円 院120,000円</p>	<p>4月</p>

日揮・実吉奨学会☆	<p><b>学部・大学院:</b>理工系(農・獣医・水産学系も含み、医・歯・薬学系は除く)。学部、修士、博士課程在籍で、人物・学力ともに優れ、かつ健康であって、経済的に奨学金の給与が必要であると認められる者。  ※申請時の年齢が満30歳未満であること。  ※日本学術振興会特別研究員採用者でないこと。  給付期間:1年間(年一括)</p>	可	8	給与	年額300,000円	4~5月
川本・森奨学財団☆	<p><b>大学院:</b>専門職学位課程を除く各研究科の修士課程に在籍する者。  ※平成27年5月29日(金)の面接を受けられること  ※財団が主催する行事に出席できること(12月上旬予定)  ※学力優秀・品行方正にして、経済的理由により学費の支弁が困難であること  給付期間:正規の最短修業年限</p>	可	1	給与	30,000円	4~5月
川村育英会☆	<p><b>大学院:</b>次にあげる研究科の修士1年生。  工学系、情報理工学系  (化学、物理、機械、電気電子等の学問を専攻している者)  ※採用された場合には、平成27年8月28日(金)に行われる授与式に出席すること。  給付期間:2015年8月から正規の最短修業年限まで</p>	可	0	給与	60,000円	5月
小堀雄久学生等支援会	<p><b>学部・大学院:</b>理工系分野の理系の学部3,4年生、修士1,2年生。  &lt;その他&gt;愛国心に富み、古風ながら、仁・義・礼を尊び、学業に勤しむ者で、経済的理由により学資の援助を必要とするもの。但し、家計扶養者の年間収入は1000万円以下であること。  ※奨学生に採用された者は、財団の求めに応じて学業成績表を提出する。</p>	可	3	貸与	40,000円	5月
岩垂奨学会	<p>&lt;課程&gt;修士、博士  &lt;学年&gt;指定なし  &lt;研究科&gt;理学系、工学系、情報理工学系、医学系、薬学系、新領域創成科学(理工医薬系分野)  &lt;その他&gt;日本人学生。<b>学力優秀</b>(学部の専門科目の成績が2.3以上*)、健康、志操堅固で学資支弁の困難な者。*数値の換算方法:(優×3+良×2+可×1)/(優+良+可)  ※下記の者は申込みできません。  ・留年者  ・10月入学等で今年度途中修了する者。  ・過去に岩垂奨学会から奨学金の給付を受けていた者。  ※奨学生に採用された者は学年末(1月頃)に研究経過報告書及び生活状況報告書の提出が必要です。  &lt;給付期間&gt;平成27年4月~平成28年3月</p>	可	24	給付	年額80万円	5~6月

<p>大学女性協会</p>	<p><b>○一般奨学生</b>          〈課程〉修士、専門職学位、博士          〈学年〉修士、専門職学位2年次以上(1年以上大学院に在籍していること)。博士は学年不問(博士4年課程は2年次以上)。          〈その他〉学業人物ともに優れた女子学生。</p> <p><b>○社会福祉</b>          〈課程〉学部、修士、専門職学位、博士          〈学年〉学部、修士、専門職学位2年次以上(1年以上大学院に在籍していること)。博士は学年不問(博士4年課程は2年次以上)          〈その他〉身体に障害があり、かつ学業人物ともに優れた女子学生。</p> <p><b>○安井医学</b>          〈課程〉修士、専門職学位、博士          〈学年〉修士、専門職学位2年次以上(1年以上大学院に在籍していること)。博士は学年不問(博士4年課程は2年次以上)          〈研究科〉医学系、薬学系          〈その他〉学業人物ともに優れた女子学生。</p> <p>〈給与期間〉1年限り          ※過去に大学女性協会からの奨学金を授与された者は、再応募することができない。</p>	<p>可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>一般奨学生          大学院 年額20万円</p> <p>社会福祉奨学生          学部 年額10万円          大学院 年額20万円</p> <p>安井医学奨学生          大学院生 年額30万円</p>	<p>6~7月</p>
<p>信濃育英会</p>	<p>学部:3,4年生で以下の条件に該当する者</p> <p>経済的援助を必要とする学生で、現在ボランティア等(福祉・教育・文化・スポーツ・国際交流・環境保護等の公益的活動)を通じて明るい社会に貢献している者</p> <p>※この奨学金はボランティア等の活動実績を条件としているので、内部選考用願書にはボランティア活動の内容を具体的に記入してください。          なお、推薦が決定した者は信濃育英会へ活動体験文(社会的貢献活動の内容を2000字以内で具体的に記入)、活動体験・実績を証明するもの(写真等)の提出が必要。</p> <p>※一度、本奨学金を授与された方は、再応募できません。</p>	<p>可</p>	<p>0</p>	<p>給与</p>	<p>200,000円          (1回限り)</p>	<p>6~7月</p>



<p>帝人奨学会</p> <p>【博士予約】</p>	<p>〈課程〉博士(予約)          〈学年〉2015年10月または2016年4月進学決定者(見込みも可)          〈研究科〉理学系、工学系、農学生命科学、医学系、薬学系、新領域創成科学、情報理工学系研究科、学際情報学府、総合文化研究科、数理科学研究科          〈分野〉理工学系(化学、物理、数学、材料等)、医学・薬学系、工学系(電気・電子工学、機械等)、情報学系(情報システム、電子システム等)、バイオ学系(バイオ、生物、環境等)          ※内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。          ①第一次選考:書類選考          ②第二次選考:専門面接(上記の分野ごとに研究概要プレゼン、質疑応答) 11月上旬に実施          ③最終選考:選考委員による面接 12/1に実施          ※卒業後、帝人奨学会指定の大学研究機関等(日本学生支援機構が指定した機関に準ずる)で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還が免除されます。          貸与期間:2016年4月～正規の最短修業年限まで(2015年10月入学者も同様)</p>	<p>可</p>	<p>0</p>	<p>貸与</p>	<p>100,000円</p>	<p>8～9月</p>
<p>吉田育英会          &lt;ドクター21&gt;          予約採用</p>	<p>〈課程〉博士(予約)          〈学年〉2016年秋季または2017年春季に大学院博士課程(標準修業年限3年)に進学を希望する者。進学先大学院は東京大学大学院でなくても構わない。          〈研究科〉総合文化、理学系、工学系、農学生命科学、医学系*、薬学系*、数理科学、新領域創成科学、情報理工学系、学際情報学府 *4年課程は対象外          〈分野〉自然科学系          〈その他〉・2016年4月現在東京大学大学院修士課程2年次に在学していること。          ・30歳未満(2016年4月1日現在)。          ・学術研究のレベルが高い者。          本奨学会の選考は、経済的な困窮度よりも、成績を重視します。          ・日本国籍を有する者          ・当会奨学金受給を第一志望とする者が望ましい。          ※内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。          ①第一次審査:書類選考          ②第二次審査:面接選考 2016年6月8,9日 実施予定          応募者によるプレゼンテーションを含む。          ※この奨学金は大学院博士課程への進学希望者に、博士課程での学校納付金の同額を給与する奨学金です。採用になった場合、博士課程での入学金・授業料免除制度は受けられません。          〈給与期間〉博士課程での3年間           出願には内部選考書類とともに最新の成績証明書(学部4年間分と修士課程)が必要。</p>	<p>給与:不可          貸与:可           学費を支給する奨学金との重複は不可</p>	<p>未</p>	<p>給与</p>	<p>○月額20万円           ○博士課程での*学校納付金として250万円以内の実費(*入学金・授業料・施設費・実験研究費等の名目で大学に半期または1年毎に納付する費用を含む。学校納付金の枠内で国内の学会発表の参加費を受けることができる)           ○海外研究活動支援として100万円以内の実費(海外の大学及び研究機関との往来、短期留学、海外研修/学会への参加等の交通費、宿泊費、学会参加登録費等)</p>	<p>2～3月</p>

<p>帝人奨学会 【修士予約】</p>	<p>〈課程〉修士(予約)          〈学年〉2015年9月、10月または2016年4月進学決定者(見込みも可)          〈研究科〉理学系、工学系、農学生命科学、医学系、薬学系、新領域創成科学、情報理工学系研究科、学際情報学府          〈分野〉医学・薬学系、バイオ学系(バイオ、生物、環境等)、理工学系(化学、物理、数学、材料等)、工学系(電気・電子工学、機械等)、情報学系(情報システム、電子システム等)</p> <p>※内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。          ①第一次選考:書類選考          ②第二次選考:専門面接(上記の分野ごとに研究概要プレゼン、質疑応答) 4下旬～5月中旬に実施          ③最終選考:選考委員による面接 5月30日(月)に実施</p> <p>※卒業後、帝人奨学会指定の大学研究機関等(旧日本育英会が指定した機関に準ずる)で学術研究活動に所定期間(貸与期間の2倍)従事した場合には、返還が免除されます。</p> <p>〈貸与期間〉2016年4月～正規の最短修業年限まで(2014年10月入学者も同様)</p>	可	未	貸与	80,000円	2～3月
-------------------------	---	---	---	----	---------	------

## (2)直接応募の奨学会募集について

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	採用者数	奨学金月額		募集期
<p>公益財団法人 朝鮮奨学会</p>	<p>【特別永住者等】※永住者、定住者、家族滞在などを含む          (継続・新規)          学部(2年以上)・大学院(*):韓国籍又は朝鮮籍を有し、学業成績が優良で、学費の支弁が困難な者          2015年4月1日現在、学部:30歳未満、大学院:40歳未満の者(継続応募者を除く)          (*):法科大学院3年制のみ2年以上</p> <p>給与期間:1年間(同じ課程であれば継続生として応募できる)          ※6年制の学部生は最長4年間          ※博士課程の学生は最長2年間</p> <p>※出願条件等については、各自財団HPでよく確認すること</p>	<p>不可          (貸与奨学金、学内奨学金、あるいは朝鮮奨学会と同額未満であれば可)</p>	-	<p>給与</p> <p>学部 25000円          大学院 40000円          修士(専門職) 40000円          博士 70000円</p>		3～4月

公益信託池田育英会トラスト	<p><b>学部・大学院:</b> 愛媛県内の高等学校を卒業している者、または保護者が愛媛県内に居住している者で、つぎの要件を満たすこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部2年生以上または大学院に在学する者。</li> <li>・学業・人物ともに優秀で経済的支援の必要な者。</li> </ul> <p>支給期間: 正規の最短修業年限迄</p>	可	-	給与	17,000円	3~5月
守谷育英会	<p><b>学部・大学院:</b> 学業、人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者。</p> <p>支給期間: 正規の最短修業年限迄</p> <p>※書類選考通過者は、6/17(水)~19(金)に面接選考があります。</p>	可	-	給与	100,000円	4~5月
三宅シツ奨学金	<p><b>学部・大学院:</b> 学業、人物ともに優秀かつ心身が健康であって、経済的事情により修学が困難である女子学生。</p> <p>※書類選考と面接選考があります。</p> <p>貸与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	可	-	貸与	40,000円	4~6月
芸備協会	<p><b>学部:</b> 広島県出身者で、学習状況が良好であり、勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難と認められる学部生。</p> <p>貸与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	可	-	貸与	20,000円	4~5月
本庄国際奨学財団 日本人大学院生奨学金	<p>〈課程〉修士、博士、大学院研究生          〈学年〉指定なし          〈研究科〉指定なし          〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年4月1日以降に国内の大学院(修士・博士課程、研究生)に在籍している(または入学が許可されている)者。</li> <li>・博士課程学生は1980年3月31日以降に生まれた者</li> <li>・修士課程学生は1985年3月31日以降に生まれた者</li> <li>・国際親善に理解を持ち、貢献を期する者</li> <li>・大学院修了後、母国において勤務する意志をもつ者</li> </ul> <p>※奨学金受給中はアルバイトをしてはいけない。(ティーチングアシスタント、リサーチアシスタントなど大学や研究に関する仕事、通訳、翻訳、国際交流事業など国際交流に関する仕事を除く)</p> <p>※奨学金受給中はほぼ毎月事務局にて面談あり。また財団で行う行事への参加が求められる。</p> <p>〈給与期間〉2016年4月~最短修業年限まで</p>	不可	-	給付	15万円 18万円 20万円	8~10月

### (3)その他の奨学会

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	採用者数	奨学金月額		募集期
日本国際教育支援協会 双日復興支援教育基金	<p><b>学部:</b>平成27年4月現在、日本国内の大学学部在籍する正規学生で、本震災により家計を支える方が被害を受け、経済的に就学継続が困難な学生。(要:罹災証明書提出)</p> <p>給与期間:2015年4月より正規修業年限まで</p>	不可 (ただし貸与は可)	-	給与	月額7万円	4~5月
あしなが育英会	<p><b>学部:</b>保護者が病気や災害(道路における交通事故を除く)、もしくは自死(自殺)などで死亡したり、それらが原因で著しい後遺障害を負い、修学が困難な学部生 ※25歳未満の者。 給付期間:正規の最短終業年限迄</p>	可	-	貸与	40,000円 (特別50,000円)	4~5月
同盟育成会	<p>〈課程〉学部(4年制課程) 〈学年〉3年以上 〈学部〉指定なし 〈その他〉<b>・ジャーナリストを目指している者。</b> ・志操堅固、健康優良で学力が優秀な者。 ・学資の援助が必要と認められる者。 ※応募者は「ジャーナリストの志望動機」もしくは「ジャーナリズム、マスコミに関する意見・主張」というテーマで作文課題あり。 〈給与期間〉正規の最短修業年限まで(最長2年間)</p>	可	-	給与	月額3万円	4~5月
浦上奨学会(特別)	<p>〈課程〉学部(4年課程) 〈学部〉指定なし 〈学年〉指定なし 〈その他〉 (1)2011年3月の東日本大震災による災害救助法適用地域に実家があり、学費や生活費を払う両親が被災したり、家屋が倒壊するなどして、経済的理由により就学・修学が困難な者。 (2)心身ともに健康であり、品行方正で学習意欲が高い者。 〈給付期間〉正規の最短修業年限迄</p>	不可(ただし貸与は可)	1	給与	月額10万円	4~5月
鷹野学術振興財団	<p>〈課程〉学部、修士 〈学年〉学部1~3年(6年制は1~5年)、修士1年 (平成27年4月1日現在、上記学年に在籍していること) 〈研究科〉科学技術関係(電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、医工関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等)を専攻 〈その他〉<b>・製造業に就職を希望する者</b> ・過去に鷹野学術振興財団に採用されたことがない者。 〈給与期間〉1年間</p>	不可 (ただし日本学生支援機構は可)	1	給与	年額60万円	3~5月

山根奨学基金	<p><b>学部・大学院:</b> 学部3年生以上。修士、博士、専門職学位は指定なし。日本女性であって、学業・人物ともに優秀であり、かつ山根奨学基金設立の趣旨に合致すると認められる学生。</p> <p>給与期間: 1年限り</p> <p>※推薦者は、7月下旬もしくは8月上旬の土曜日の午後に基金による面接選考があります。</p> <p>&lt;財団法人山根奨学基金について&gt;</p> <p>日本初の女性外交官として、日本および諸外国の人々からも、その将来に大きな期待をかけられながら惜しくも飛行機事故の犠牲となった山根敏子さんを記念して設立されました。この奨学基金は、山根さんの遺志を継ぐ女子学生のうち、特に国際問題に関心を持つと同時に将来、世界人類の平和と幸福に貢献するため、国際社会において活躍する意思と情熱を持つ女性を育成し、その勉学の一助となること目的として設立されたものです。</p>	可	0	給与	年額30万円	5~6月
信濃育英会	<p>&lt;対象&gt; 学部学生を構成員とした以下の条件に該当する学生グループ(団体)</p> <p>現在ボランティア等(福祉・教育・文化・スポーツ・国際交流・環境保護等の公益的活動)を通じて明るい社会に貢献している学生グループ(団体)</p> <p>応募にあたって、信濃育英会へ活動体験文(社会的貢献活動の内容を2000字以内で具体的に記入)、活動体験・実績を証明するもの(写真等)の提出が必要。</p>	可	-	給与	30~50万円 (1回限り)	6~7月
浦上奨学会	<p>&lt;課程&gt; 修士(予約)、博士(予約)</p> <p>&lt;学年&gt; 2016年4月入学予定者</p> <p>&lt;研究科&gt; 指定なし</p> <p>&lt;その他&gt; 広島県出身者</p> <p>&lt;貸与期間&gt; 正規の最短修業年限まで</p> <p>※最短修業年限で終了した場合は、奨学金の返還が半額免除されます。</p>	可	-	貸与	5万、 6万、 7万、 8万円 から選択	9~10月
林レオロジー記念財団	<p>&lt;課程&gt; 学部、修士</p> <p>&lt;学年&gt; 平成28年4月に大学3年、もしくは4年に進級する者。または修士課程の1年に進学を希望する者、もしくは修士課程2年に進級する者。留年者を除く。</p> <p>&lt;学部・研究科&gt; 理学部・工学部・農学部・薬学部(進学予定者を含む)、理学系・工学系・農学生命科学・医学系・薬学系・新領域創成科学・情報理工学系研究科・学際情報学府・総合文化研究科・数理科学研究科</p> <p>&lt;分野&gt; 理学・工学系(機械・精密・システム工学・IT技術関係等)もしくは農水産系・生命科学系で「食品産業に関する」学問を習得又は学術研究を志す者。</p> <p>※応募者は課題小論文(A「食品加工技術の未来について」もしくはB「世界の食料問題に対処するには」)を提出。</p> <p>※前年度応募者および前年度奨学生であっても、応募資格を有する。</p> <p>&lt;給付期間&gt;</p> <p>学部4年、修士2年に進級する者 平成28年4月1日~平成29年3月31日</p> <p>学部3年、修士1年に進級する者 平成28年4月1日~平成30年3月31日</p>	可	4	給与	修士 月額50,000円 学部 月額30,000円	9~11月
一般社団法人大学女性協会	<p>&lt;課程&gt; 学部</p> <p>&lt;学年&gt; 3年</p> <p>&lt;研究科&gt; 指定なし</p> <p>&lt;その他&gt; 企業、官公庁などで2年以上の就労を経て現在大学で勉学中の意欲あふれる女子学生。</p> <p>※奨学金を支給された場合は、卒業後3ヶ月以内に勉学の概要と現況を大学女性協会東京支部に提出すること。</p> <p>&lt;給与期間&gt; 1回限り。</p>	可	0	給与	年額20万円	12~2月